

# 京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会 2021年度第一回役員会 開催について

2022年2月1日

役員各位

2021年秋には新型コロナウイルス感染問題が日本ではほとんど収束したかに見えましたが、そのころヨーロッパでは既にオミクロン株による感染が深刻な状況を呈しておりました。2022年に入り、日本でも驚くばかりの速さで感染が拡がり、最初に広島、山口、沖縄の3県にまん延防止等重点措置が適用され、やがて東京都を含む多数の都県にも適用されました。東京都に適用されたときには、京都を含む関西圏への適用もすでに時間の問題となっておりましたが、ついに1月27日より適用されるに至りました。このような状況の中で、同窓会に関わる相談もオンラインでとならざるを得ませんでした。これは私のような者には隔靴搔痒の感を否めません。

本来ならば、2020年度が終わる2021年5月31日までには少なくとも役員会を開催し、2020年度の活動報告の承認と、2021年度の活動方針の策定をやっておかなければなりません。しかし、会長である私の不手際により、役員会を開催せぬままに2021年度に入り、既に年度の半分以上を過ぎてしまいました。この間、8月には「同窓会誌5号」を発行し、当会が送付先を把握している会員に対しては送付を済ませました。例年の定まった行事とはいえ、役員会の了承を得ずに実行・費用の支出をいたしたことは会長の越権行為というほかありません。

時機を失しての開催となってしまいました。役員会を開催させていただくことにいたします。既に触れましたような新型コロナウイルス感染の急激な拡大状況下に有っては、対面での会議開催は昨年度に続いて諦めざるを得ず、昨年度に倣っての書面決議を用いた会議とさせていただきますことお認めいただきたくお願い申し上げます。

手順といたしましては、昨年度と同じく以下の要領で実施させていただきます。

- (1) 議決は書面によるものとする。決議書は会から(2)の討議期間の終わり近くに各役員に届くよう郵送する。
- (2) この議案書は会長から各役員にメールで配信する。議案についての質問や意見表明は、役員全員宛のメールで行うこととし。その期間を7日間とする。今回は2月8日までこの期間が続くものとする。
- (3) 各役員は、この期間終了後に各役員の議案についての意見を、送付した議決書に記入して会宛に郵送する。

何卒、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

京大数学同窓会  
会長 井川 満

# 京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会

## 2021年度第一回役員会議案

### 1. 2020年度（2020年6月1日～2021年5月31日）活動報告

- (1) 2020年8月25日に同窓会誌4号を出版し、当会が送付先を把握している会員に郵送した。
- (2) 2020年度の京都大学全体の学位授与式は、学部卒業生を対象とするもの、および修士課程修了生を対象とするもの共に2021年3月24日に岡崎の“みやこめっせ”で開催された。理学部卒業生には、理学部6号館において教務掛に依って学位記が手渡されたが、この会場に数理科学系卒業者に対するコーナーを設けさせてもらい、同窓会からのお土産を手渡すとともに、卒業後の連絡先の記入を願った。

修士課程修了者は数学教室で学位記を受け取ったので、大部分の修了者から今後の連絡先などのデータを貰うことができ、また同窓会からのお土産を手渡せた。

### 2. 会計報告

#### 2020年度会計報告

2021年6月29日に、吉川謙一経理担当常任幹事により作成された2020年度会計報告を、稲生啓行、および徳田裕也両監査役が監査した。両監査役によって会計は適切に管理されてきたことが認められた（会計報告書参照）。

### 3. 議事

- (1) 2020年度の活動報告の承認
- (2) 会計報告、監査結果についての審議
- (3) 2021年度総会、講演会、懇親会

新型コロナ禍がどうなるかの見通しが立たないことより、中止する。

- (4) 愛称募集の結論を先送りする

愛称募集は、2019年度の総会で2020年7月31日まで延長することが認められ、その結論を2020年度に出すことになっていた。しかし、2020年度は、対面での役員会は開催できず、総会は開催できず、更に2021年度も総会が開催できなかった。

この課題の性質上、慎重な議論を要することであるので、結論は通常形で総会が開けるまで先送りすることにする。

- (5) 同窓会誌

同窓会誌5号は通常通り発行・配布する。

- (6) 学位記授与式

京都大学全体の2021年度の学位授与式は、現在のところ2022年3月24日に開催される予定である。これに応じて、数学教室主催の学部卒業生・修士課

程修了生への学位授与式は、従来より簡略化した形ではあるが開催出来そうである。

開催される場合は、同窓会はその開催に協力し、祝辞を述べると共に記念品を渡す予定である。

(7) 総会不開催への対応

総会を開催しないので、この役員会で決定した案件は、会長の責任で実行し、通常の形で総会が開けたときに、事後承認を諮る。承認を得られない時は、会長が責任を取る。

(8) 議案(4)の同窓会誌5号の発行は役員会の了承を得ずに既になされている。役員会はこれを追認する。

(9) 2022、および2023年度の役員

健康上の理由による鶴敏朗氏の退任希望を受け入れる。代わって岸本展氏に役員就任を願う。

2022年5月31日で、現役員の任期が終わる。2022年6月1日より2024年5月31日までの役員を以下の方々に依頼する。

会長	井川 満 (1965年卒)
副会長	重川 一郎 (1976年卒, 広報)
監査役	稲生 啓行 (1997年3月退学, 4月修士課程進学)
常任幹事	徳田 裕也 (2001年卒)
	木坂 正史 (1989年卒, 書記)
	菊地 克彦 (1991年卒, 書記)
	吉川 謙一 (1990年卒, 経理)
	吉田 敬之 (1970年卒)
	松本 和一郎 (1971年卒)
	池田 保 (1985年卒)
事務局	國府 寛司 (1982年卒)
	平賀 郁 (1990年卒)
	浅岡 正幸 (1997年卒)
	岸本 展 (2006年卒, 広報)
	田中 紀子 (広報)
	篠崎 由加里 (経理)

(10) 定松隆氏の特別会員への推薦、推薦者井川満。

定松氏は、1964年工学部数理工学科卒業、ついで大学院工学研究科に進学。指導教授は山口昌哉先生であったが、当人の希望で指導を理学部数学教室の溝畑茂教授に依頼。工学研究科在籍のまま、実質的には理学研究科で大学院時代を過ごす。博士課程を中途退学して、数学教室の助手に就任、約4年半在籍。同窓会誌設立報告号(2016年8月発行)の松本和一郎氏の連載記事(2)の中に登場している。

以上